

No.	大学名	プロジェクト名
	佛教大学	豊栄まちづくり委員会

参加学生 (登壇者★)	佛教大学 社会学部3回生 久世龍太・菅原大貴・石川康太 中村綾那・中林明日香・藤林怜平 福田稜介・米澤美佳・宮本理花	連携先からの ミッション	地域産業の担い手不足などの課題を抱える豊栄地域の経済的な活性化を目的とした提案をグローバルな視点を持って行う。
活動期間	2020年4月 ~ 2021年2月	受け入れ先 団体・企業名	京丹後市豊栄まちづくり委員会

ミッションへ取り組み概要（自由記述、図表・画像挿入可）

豊栄まちづくりで今年度行われた3つのプロジェクトと連携して、以下の活動を行った。

豊栄地域の魅力発信グループ

目的 豊栄地域の魅力を発信することで、地域の活性化や経済的利益を生み出す

方法

①豊栄旅地図の作成

→旅地図を通して豊栄の桜や特産品をPRし、最終的に豊栄にあるお店の利益化を目指す

②豊栄地域の魅力を最大化するにあたっての提案

→対象=若い世代

体験①カフェ「レストこのしろ」でのアートリウム作りや乗馬、BBQなどのイベント開催

体験②豊栄で釣れた魚を現地で味わう

体験③豊栄旅地図を元にした電動自転車での観光

花いっぱいグループ

目的 閉校した旧豊栄小学校に咲く桜の保全と、豊栄地区に活気を与えられるように花を植える

方法

①桜や金木犀の名所をつくり1年を通して地域外から人を呼び込むこと

②地域内でアートリウム教室を開き地域のコミュニティを強化する

③地域で新たな経済活動を創造する

→丹後の海に流れ着くシーグラスや陶器の破片の販売

ただのシーグラスでは豊栄を打ち出すことはできないため、海をきれいにすることに関連させ付加価値としてSDGsを加えた。

商品開発グループ

目的 ちりめんや柿を使用した小物や商品の開発、販売

方法

①ちりめんを使用したネックレス型虫眼鏡

②柿チョコチップスの製造販売

→道の駅やフリマアプリ、大学の食堂等で販売を検討中

ミッションに取り組む中で社会的課題として見えてきたこと（ミッションと深く関わる社会的な課題）

①雇用環境が整っていない、地方における人口流出

→第一次産業以外の業種が少なく、若い人の就労意識とミスマッチが起こる

②観光産業の都市部との格差

→観光に関する企画が地域内にバラバラに展開されており、効果的な宣伝も行いにくい

③教育課程における現場体験不足

→私たち自身が学校外において地域と携わる経験、課題を発見し提案する経験が少なかった